

## 平成25年度教育研究活動報告書

氏 名	藤沢 毅	所 属	芸術文化学部 日本文学科
学 位	文学修士	職 位	教授
専門分野			

I 教育活動	
本年度担当科目	
学 部	日本の文学、日本文学史Ⅳ（近世）、日本文学講読Ⅳ（近世）、日本文学講義Ⅱ（近世）、近世文学専門演習 a、近世文学専門演習 b、卒業論文（構想・準備）、卒業論文（制作）、文芸創作入門（2/15）、尾道学入門（1/15）
大学院	日本古典文学特講、日本古典文学演習、日本文学・言語文化総論（2/15）
II 研究活動	
これまでの主な研究業績（5件まで）	
（1）〈著書〉『新局玉石童子訓』 [上] [下]（共著、2000年2月・5月、国書刊行会）	
（2）〈論文〉「『月都大内鏡』の出版」（単著、1997年10月、『国語国文』）	
（3）〈論文〉「近世中期成立通俗軍書の相互関係—立耳軒作品と『太閤真蹟記』『真田三代記』」（単著、1999年12月、『鯉城往来』2）	
（4）〈論文〉「刊写本について」（単著、2002年12月、『鯉城往来』5）	
（5）〈論文〉「実録『大岡政談』とミステリー」（単著、2005年10月、『日本文学』54-10）	
本年度を含む過去3年間の研究業績	
（1）〈論文〉「『新編かげろふの巻』論」（単著、2011年12月、『鯉城往来』14）	
（2）〈論文〉「翻刻『審訓清正実記』（四）」（単著、2012年3月、『尾道大学芸術文化学部紀要』11）	
（3）〈著書〉『翻刻「小説東都紫」』（共著・編集、2012年3月、尾道大学）	
（4）〈著書〉『翻刻「[蛭ノ狩] 宇治奇聞」』（共著・編集、2012年、3月、尾道大学）	
（5）〈論文〉「真田幸村は何度死ぬ—『厭蝕太平楽記』における構成意識—」（単著、2012年12月、『鯉城往来』15）	
（6）〈論文〉「和本リテラシー教育の実践」（単著、2013年1月、『日本文学』）	
（7）〈著書〉『近世実録翻刻集』（共著、2013年2月、近世実録翻刻集刊行会、担当箇所は「『厭蝕太平楽記』」）	
（8）〈論文〉「高垣眸作品研究序説」（単著、2013年3月、『尾道市立大学地域総合センター叢書』6）	
（9）〈論文〉「高垣眸作品を読む（一）—『怪奇黒猫組』」（単著、2013年3月、『尾道市立大学文学談話会会報』3）	
（10）〈論文〉「高垣眸作品を読む（二）—『新版大岡裁き 謎の花簪』」（単著、2013年3月、『尾道市立大学文学談話会会報』3）	
（11）〈論文〉「翻刻『山本勲功記敵討』」（単著、2013年3月、『尾道市立大学芸術文化学部紀要』11）	

<p>(12) &lt;著書・その他&gt; 『下垣内先生を偲んで一下垣内和人先生追悼文集』 (共著・責任編集、2013年3月、尾道市立大学芸術文化学部日本文学科)</p>	
<p>(13) &lt;論文&gt; 「『鎮西菊池軍記』における『厭蝕太平楽記』(『真田三代記』)」 (単著、2013年12月、『鯉城往来』16)</p>	
<p>(14) &lt;その他&gt; 「忍者のはなし」 (単著、2014年3月、『尾道市立大学談話会会報』4)</p>	
<p>(15) &lt;その他&gt; 「うどん・そばの文化史」 (単著、2014年3月『尾道市立大学地域総合センター叢書』7)</p>	
<p>(16) &lt;著書&gt; 『翻刻 読本「[皎月/菊花] 大和物語」』 (共著・編集、2014年3月、尾道市立大学)</p>	
<p>(17) &lt;著書&gt; 『翻刻「[復讐/奇談] 信夫摺在原草紙』 (編集、2014年3月、尾道市立大学)</p>	
<p>(18) &lt;論文&gt; 「翻刻『[和田/後編] 英雄義秀伝』(一)」 (単著、2014年3月、『尾道市立大学芸術文化学部紀要』12)</p>	
<p>現在の研究テーマ (3つまで)</p>	
<p>(1) 立耳軒作通俗軍書の評価と文学史的位置付け</p>	
<p>(2) いわゆる「二流読本」の再評価</p>	
<p>研究テーマの進捗状況</p>	<p>(1) 立耳軒作通俗軍書については、同作の可能性のある『[和田/後編] 英雄義秀伝』の翻刻を開始した(全3回予定)。(2) いわゆる「二流読本」については、西日本近世小説研究会の活動(科研採択済件を含む)もその流れの中にあるもの。本年度の論文では『鎮西菊池軍記』を扱ったものがその成果としてある。また、学生と翻刻を進め、『[皎月/菊花] 大和物語』と『[復讐/奇談] 信夫摺在原草紙』の翻刻冊子を発行した。</p>
<p>学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績)</p>	
<p>所属学会・所属団体 役職等</p>	
<p>日本近世文学学会、上智大学国文学会、広島文教女子大学国文学会、尾道大学日本文学会          広島近世文学研究会、西日本近世小説研究会</p>	